

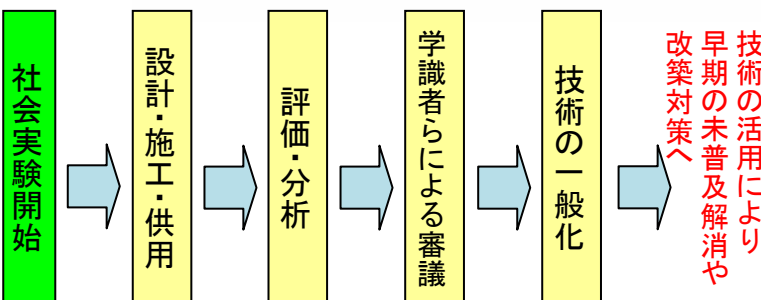
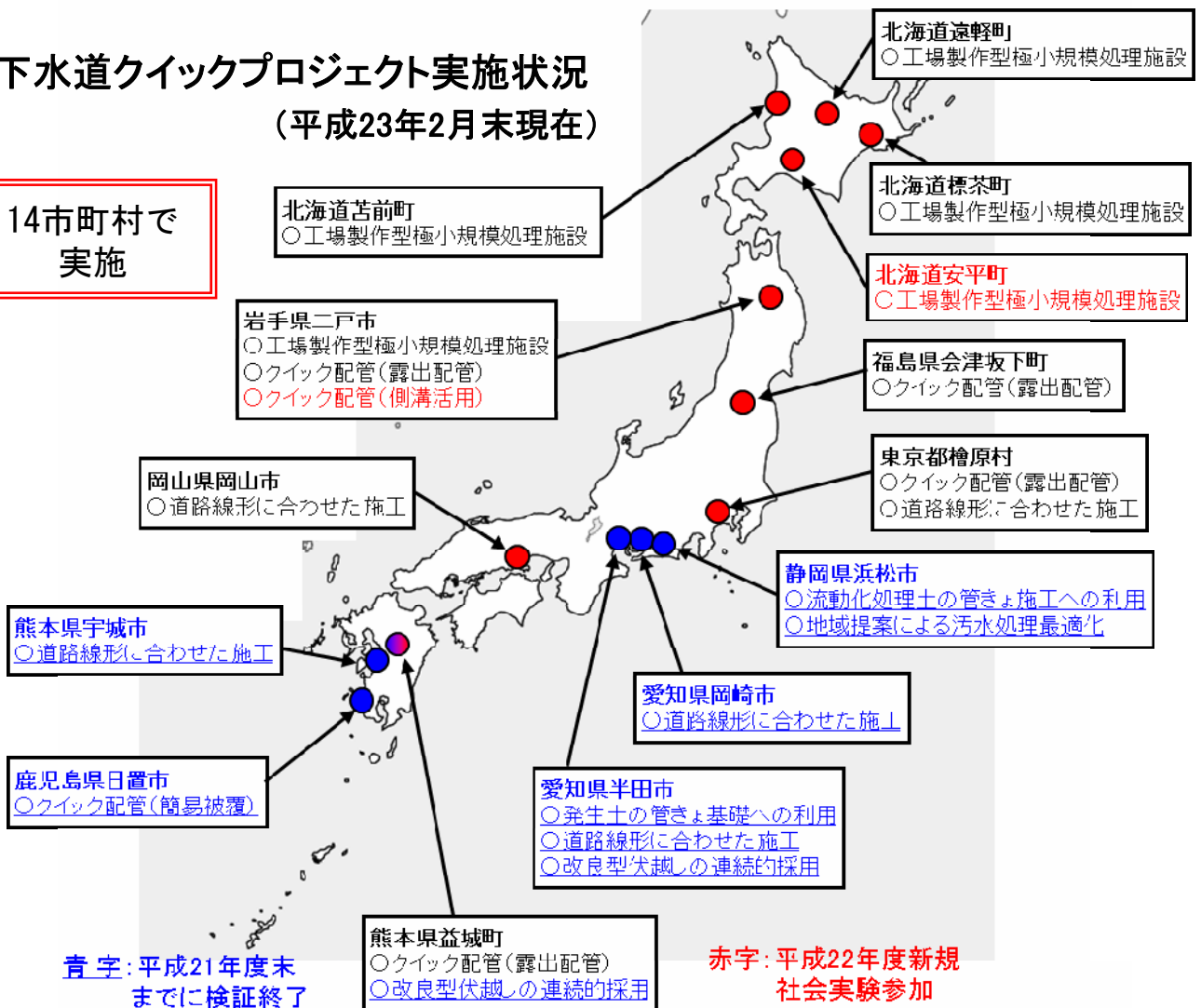
下水道クイックプロジェクトの概要

＜低コスト、早期の整備を可能とする新たな設計・施工手法の導入＞

- 平成19年度に、下水道未普及解消クイックプロジェクトにおいて、社会実験が開始された。
- 平成21年度には、新たな整備手法が未普及対策のみならず、改築対策にも活用可能であることを踏まえて、名称を「下水道クイックプロジェクト」に変更した。
- 平成21年度末までに、4つの技術に関する検証が一通り終了し、大幅なコスト縮減、工期短縮が確認された。これら技術については一般化され、利用する際の手引書（技術利用ガイド）を取りまとめた（順次「下水道クイックプロジェクトホームページ」にて公表予定）。
- 今後、他の技術についても全国の地方公共団体において活用が可能となるよう、検証・評価を積極的に進めていく予定である。

下水道クイックプロジェクト実施状況 (平成23年2月末現在)

14市町村で
実施



＜一般化済の技術＞

- ◎平成20年度
流動化処理土の管きょ施工への利用
- ◎平成21年度
改良型伏越しの連続的採用
道路線形に合わせた施工
発生土の管きょ基礎への利用